

第6回 おいしそうなみかんは どれ?!

みかん収穫体験

月 日：令和6年11月11日（月）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附属施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 6年生 39名

6年生児童39名が、みかんの収穫体験の前に、三重大学の先生から、みかんの品種や栽培方法、おいしいみかんの見分け方などを教えていただきました。

（三重大学の先生のお話）

大学では高品質の果物を安定生産するための研究をしています。

科学技術の進歩で、簡単に糖度などが計測できるため、選別されて値段が高いものはおいしいと言えます。また、小さいものが甘くておいしいよ。

見た目で病気になっているように感じられることもあるが、表面にカビがついているだけで品質には問題ないことがあります。

みかんが病気にかかると、果実が自然に落下することが多いので、地面に落ちているみかんは食べない方がよいよ。



（子どもたちの声）

- ・友だちとおいしそうなみかんを探したのが楽しかった。
- ・おいしそうな小さいみかんばかりとっている友だちがいて、すごいと思った。
- ・友だちとみかんをとったり、三重大学の先生のお話が聞けて、勉強になりました。
- ・みかんを収穫したのは久しぶりだったので楽しかった。
- ・おいしいみかんの色や大きさを教えてもらえてよかった。



～先生のご感想～

みかん収穫体験は子どもたちにとって楽しい活動で、おいしいみかんはどれか真剣に見ながら収穫をしていた。

また、気候によって生育が違うことや、実が大きくならなくても味が凝縮されていることを知ることができた。（6年生担任）

